

マタイ 22

癒やされても 癒やされなくても

マタイ福音書9章1～8節

メシアの奇跡⑤

中風患者の癒し

アウトライン

0. イントロダクション

I. イスラエルの家屋

II. 中風患者の癒やし 9:1~8

III. まとめと適用

弱さをも用いられる

主に信賴して

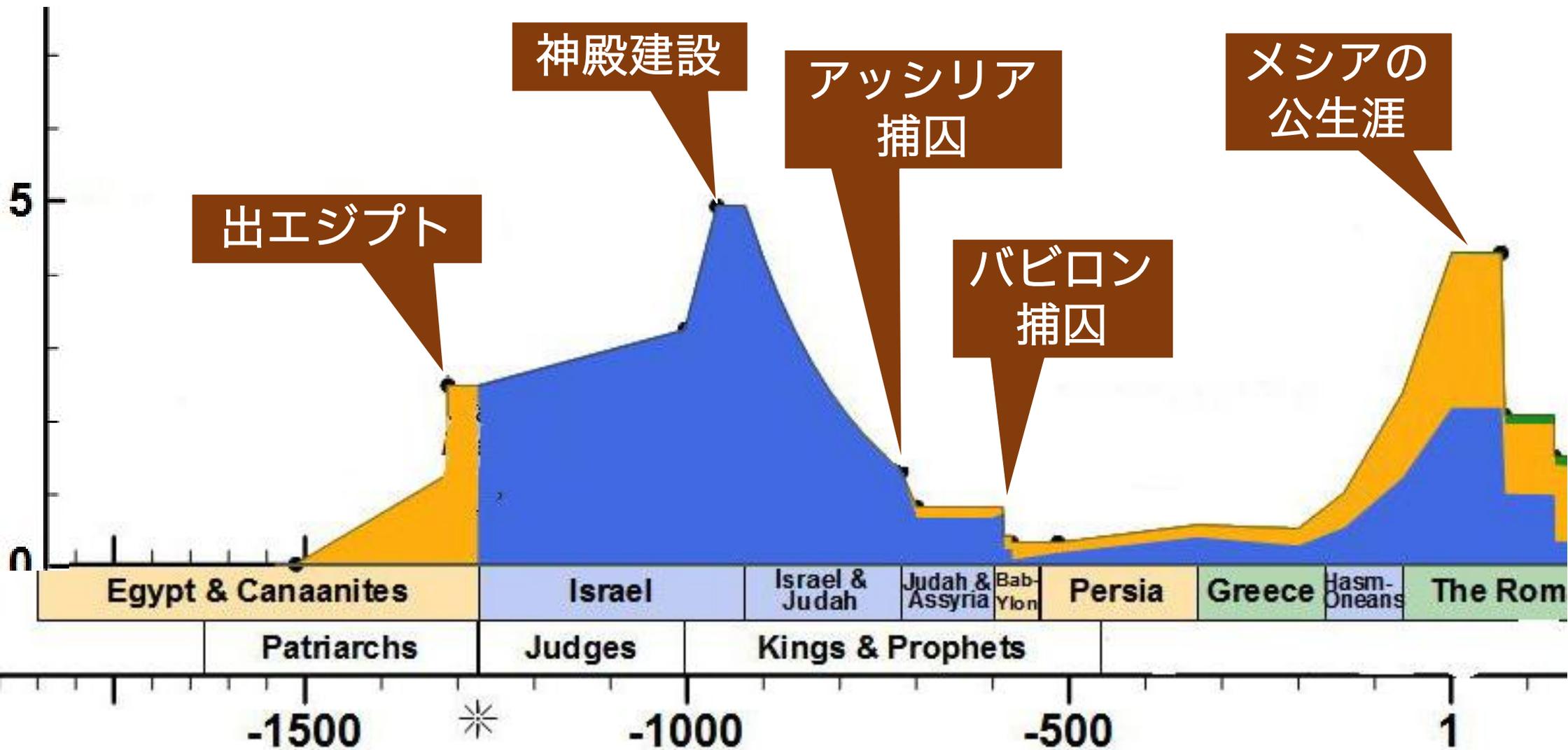




0. イントロダクション

ユダヤ人の人口推移

メシアの時代は二度目のピーク!!



メシアの生涯

宣教

→ 拒絶

→ 弟子訓練

→ 十字架へ

メシアによる
メシアの証明

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐



ベルゼブル論争について

■ベルゼブル論争 → イスラエルが公式にイエスを拒絶
「悪霊の力による奇跡・メシアではない」

■ベルゼブル論争前 → 大衆伝道 (誰もが、癒やし、奇跡の対象)

■ベルゼブル論争後 → 弟子訓練 (たとえ話、奇跡も限定)

※大きな転換点だが、くっきり分かれているわけではない。
対立の激化に伴い、徐々に大衆伝道から弟子訓練に比重が移行。

マタイ福音書によるメシアの生涯 (時系列より内容重視)

	章	時代	おもな内容
出生	1~2	誕生	エレミヤの召命
大衆伝道 (公開)	3~4	宣教の開始	バプテスマ、悪魔の誘惑、ガリラヤへ
	5~9	宣教	山上の説教(5~7)、 メシア的奇跡(8~9)
	10~12	衝突	12弟子の派遣、 ベルゼブル論争
	13~20	弟子訓練	たとえ、信仰告白、山上の変容
	21~25	最後の論争	エルサレム神殿での最終論争
弟子訓練 (限定)	26~27	受難	最後の晩餐、裁判、十字架と葬り
	28	復活	復活、弟子たちへの最後の命令

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

ミナのととえ

ザアカイの回心

山上の変容

ペトロの信仰告白

五千人の食事

たとえ話

安息日(律法解釈)論争

メシア的奇跡

ガリラヤ伝道開始

弟子の召命

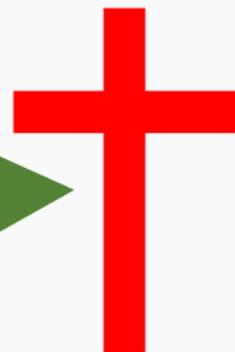
荒野の誘惑

バプテスマ

最後の晚餐

エルサレム入城

紀元70年
エルサレム陥落

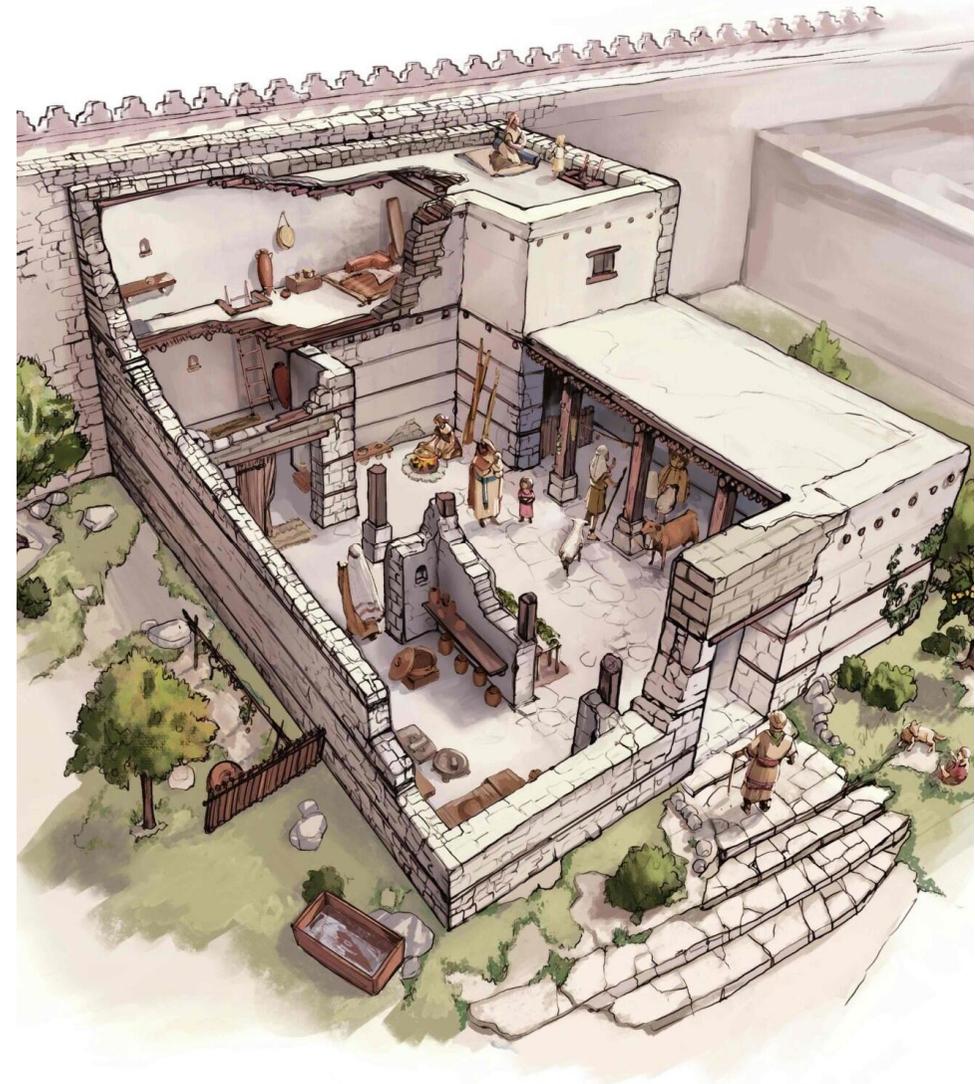


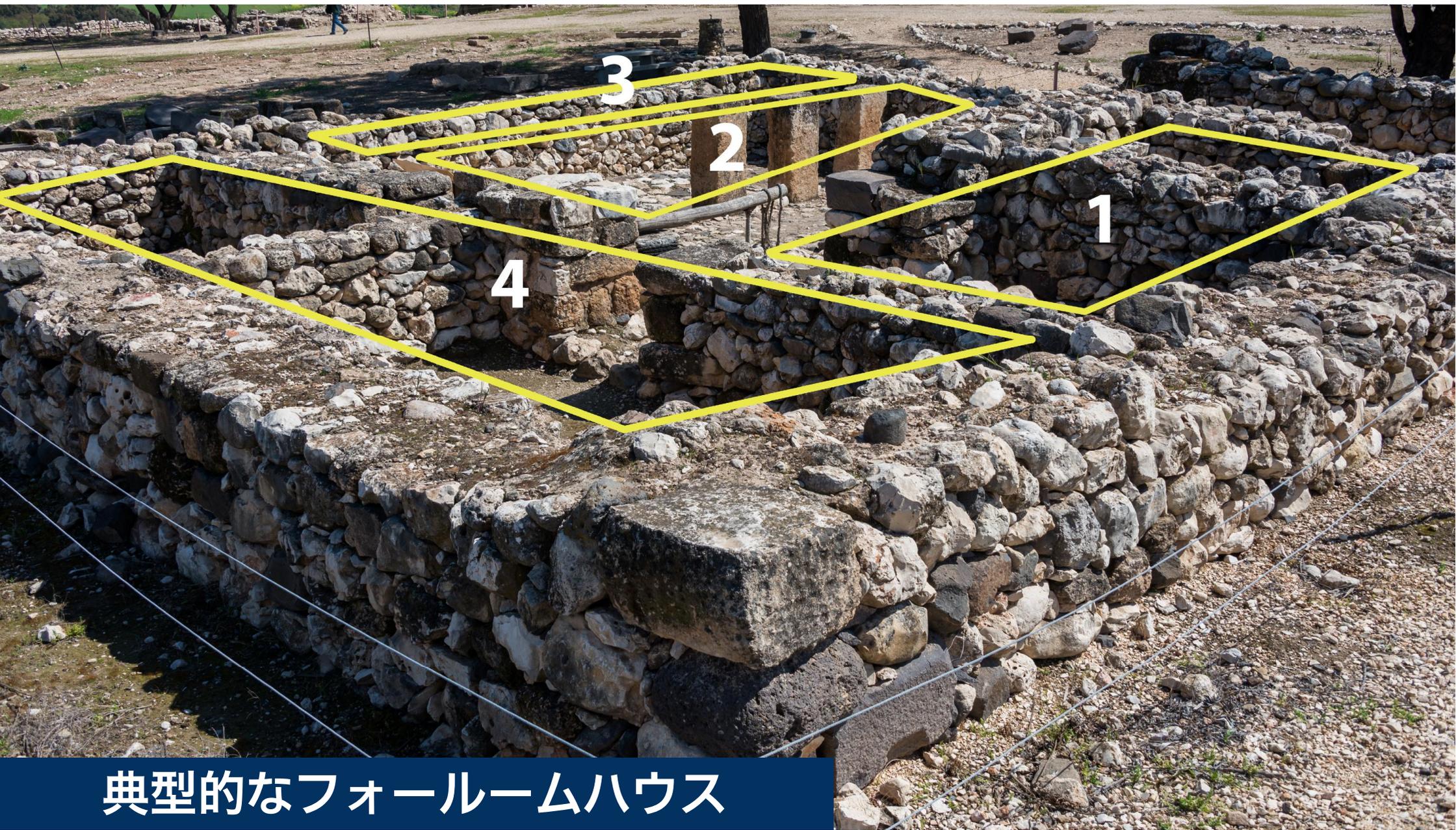


Ⅰ. イスラエルの家屋

フォーラムハウス

- 古代イスラエルの一般的な家屋
 - ➔ BC1200頃、突然出現し、普及
(ヨシュアの時代)
- 中央部に細長い広間があり、各部屋からアクセスできる。
…大小様々。二階、三階建ても。
- 律法に基づく生活のための家。
(家族単位の生活を前提)
 - ➔ 病気や、女性の生理や妊娠の際、隔離されつつ、共に生活できる。





典型的なフォールームハウス

カペナムの遺跡



ペテロの家

会堂

カペナム再原図



カペナウムの家屋

- 黒っぽい玄武岩のブロックを重ね。石と泥で補強。床は石畳。屋根は、藁と泥で固めたもの。
- 中庭が最も広く、円形の炉が設置。中庭に面して小部屋(四畳半～六畳)
- 二階はほとんどなかった。屋根に登る階段も発見。(屋上は作業場、仮小屋も)

※通称ペテロの家→考古学的根拠なし



ペテロの家 入り口

ペテロの家上の教会堂





II. 中風患者の癒し

マタイ福音書9章1～8節

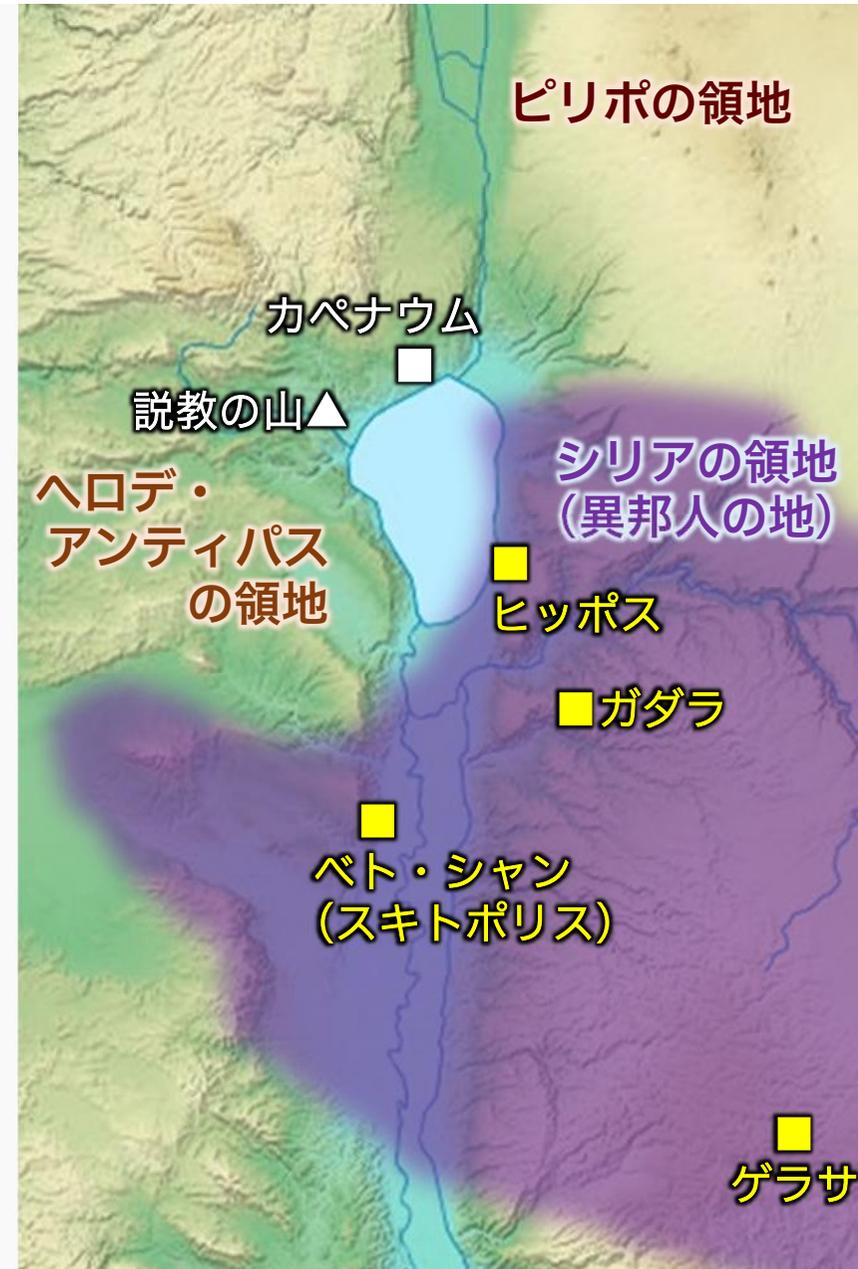
カペナウム

本編

帰還 マタイ9:1

イエスは舟に乗って湖を渡り、自分の町に帰られた。

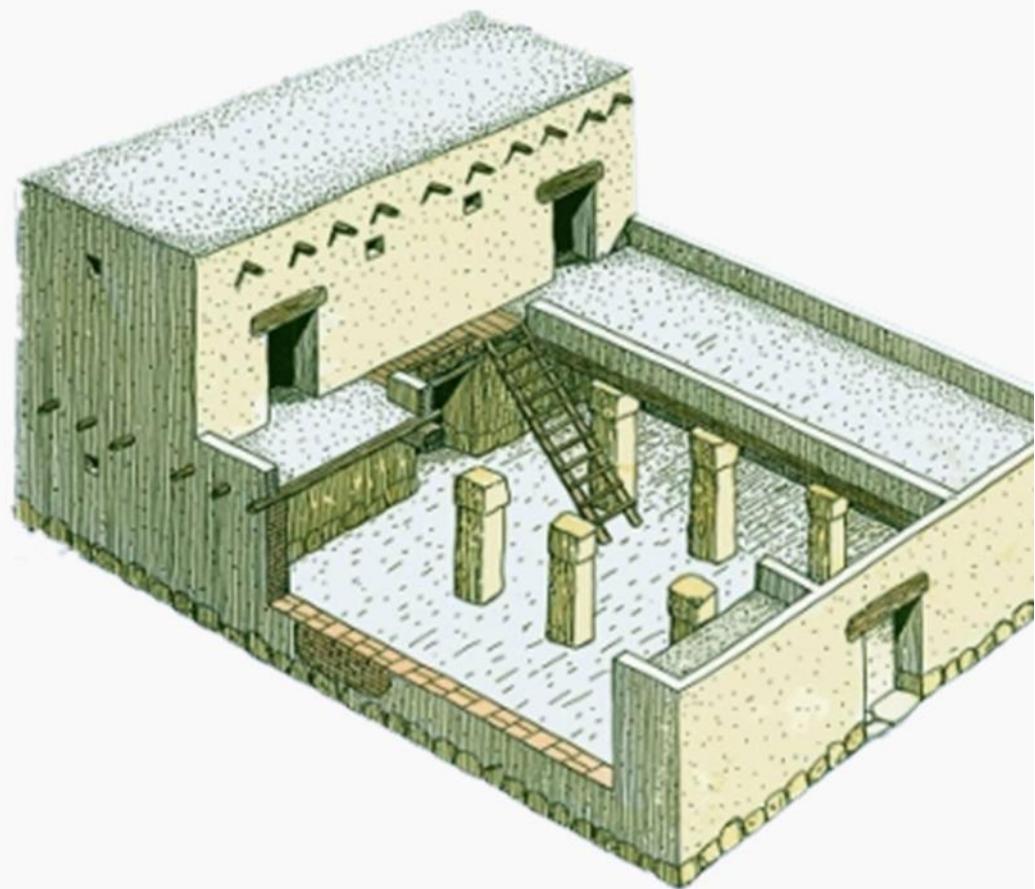
- 異邦人の地・ガダラ(ゲラサ)から、拠点のカペナウムへ帰還したイエス。



並行記事 大勢の群衆 マルコ2:2

それで多くの人が集まったため、戸口のところまで隙間もないほどになった。イエスは、この人たちにみことばを話しておられた。

- イエスの帰還を知って、多くの人々が押しかけてきていた。



本編 中風患者 マタイ9:2a

すると見よ。人々が中風*の人を
床に寝かせたまま、みもとに運
んで来た。

*中風…脳出血等による、半身
不随、手足のまひなどの症状。



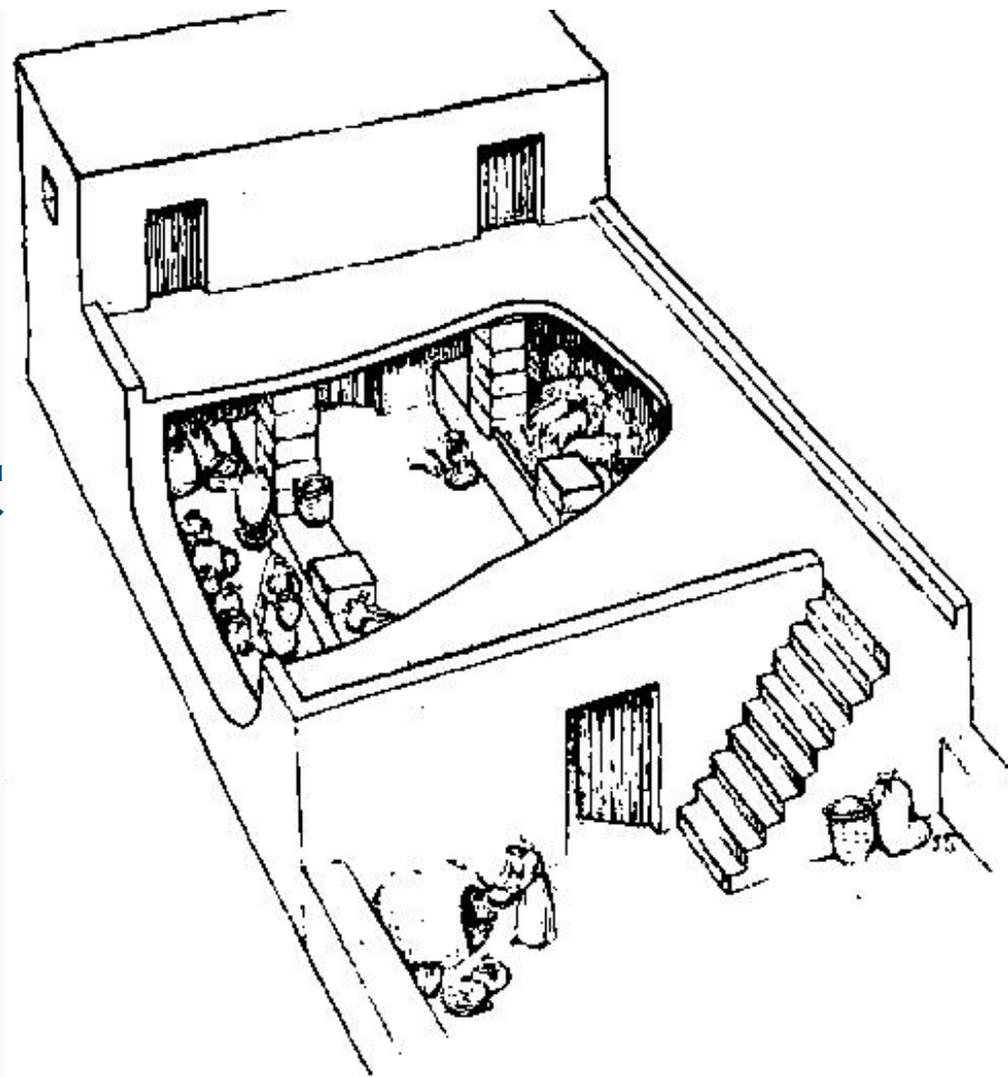
並行記事 屋根 マルコ2:3~4

彼は四人の人に担がれていた。

彼らは群衆のためにイエスに近づくことができなかつたので、イエスがおられるあたりの屋根*をはがし、穴を開けて、中風の人が寝ている寝床をつり降ろした。

*横木の上に藁を敷き、泥で固めた。

➡はがすのも簡単



本編 赦しの宣言 マタイ9:2b

イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、しっかりしなさい*。あなたの罪は赦された」と言われた。

*タルセオー…勇気を出しなさい
(ヨハ16:33)

■ イエスがかけたのは、
励ましの言葉と罪の赦しの宣言



本編 律法学者たち マタイ9:3

すると、律法学者たち*が何人かそこにいて、心の中で「この人は神を冒涇している*」と言った。

*サンヘドリン(ユダヤ議会)から派遣?!

→メシア調査の ①観察段階

*律法における罪の赦しは、

犠牲の動物を、祭司を通して献げること。

→犠牲もなく、祭司も通さず、罪の赦しを
宣言したのは、神への冒涇、律法違反!!



キリストこそ、真の祭司、罪を贖う真実の犠牲!!

本編 敵の思惑 マタイ9:4

イエスは彼らの思いを知って*言われた。
「なぜ心の中で悪いこと*を考えているのか。」

*メシアは人の心の内を読まれた

*冒瀆罪で死罪にしようと考えていた!!

「故意に違反する者は【主】を冒瀆する者
であり、その人は自分の民の間から断ち切
られる。民数記15:30」



本編 どちらが易しいか マタイ9:5

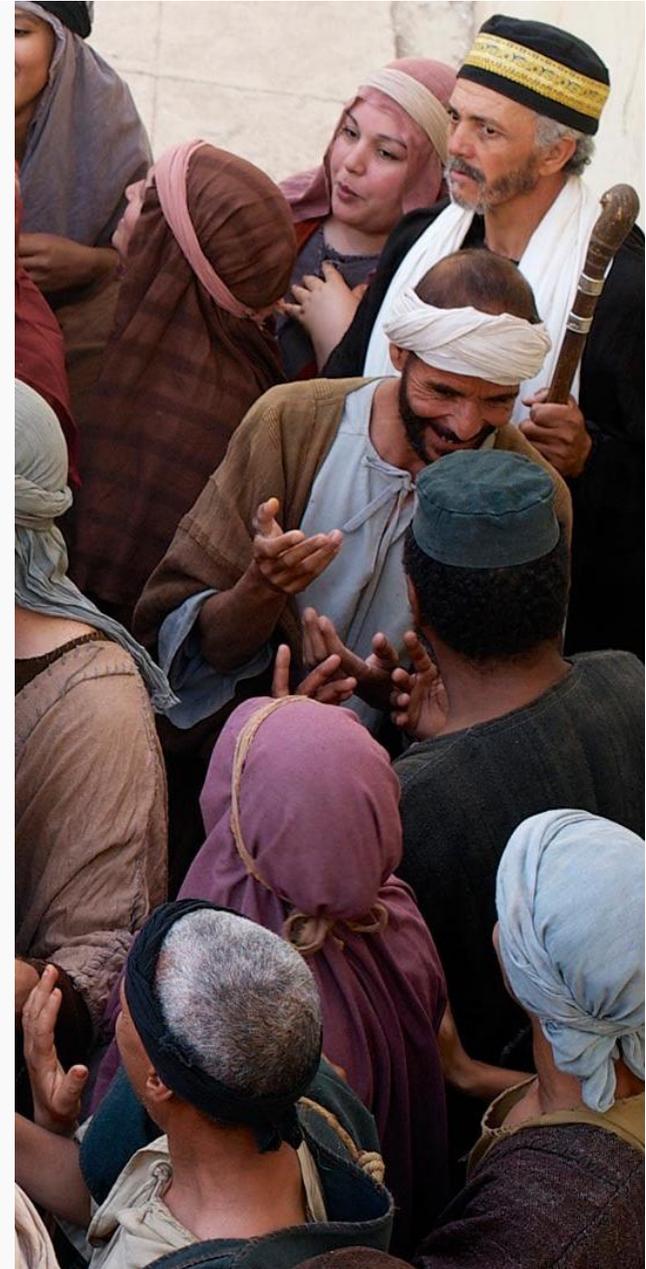
『あなたの罪は赦された』と言うのと、
『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか*。

*口で言うだけなら、易しいのは？

➔ 『罪は赦された』と言うだけ

■ 偽善者の祭司たちが神殿で行っていたのは、
口先だけの罪の赦し。

➔ イエスの問いに含まれた強烈な皮肉



本編 メシアの命令 マタイ9:6

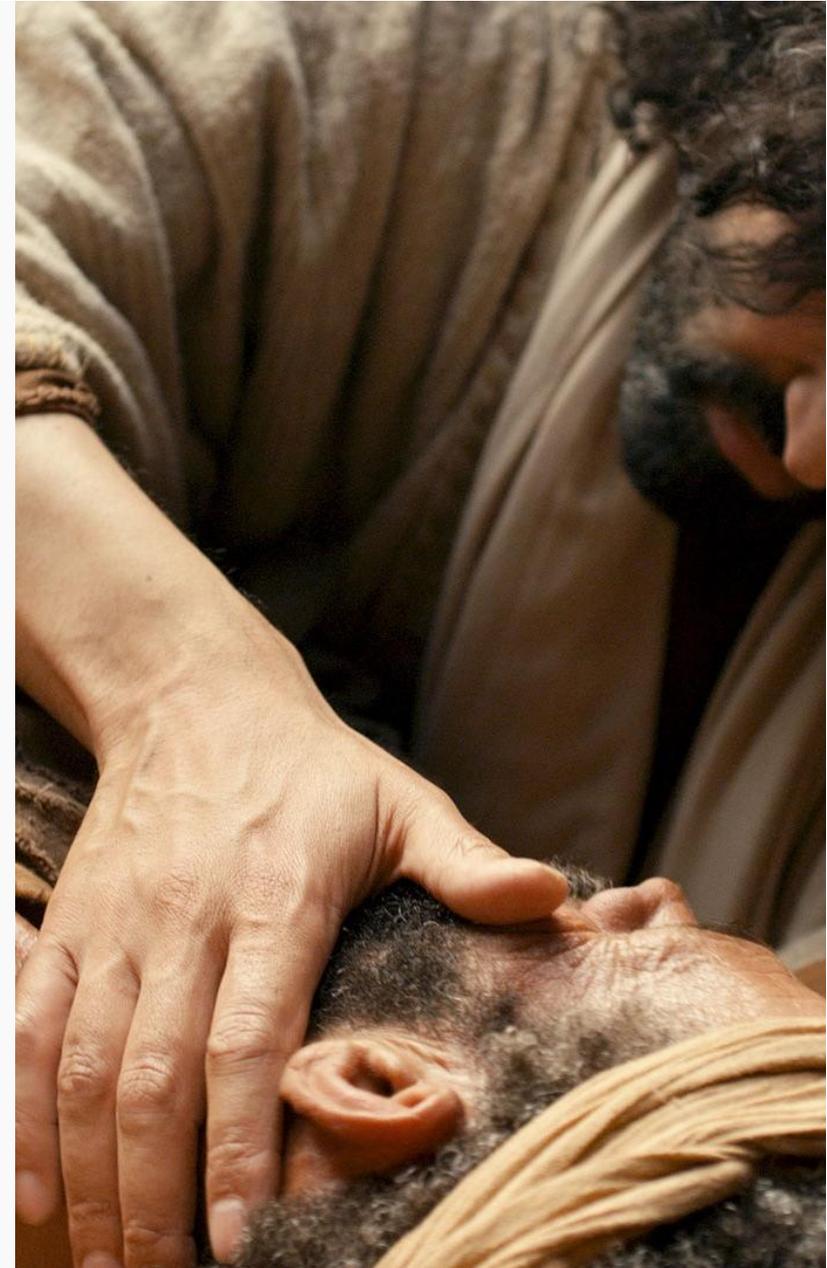
「しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために一。」そう言って、それから中風の人に「起きて寝床を担ぎ、家に帰りなさい*」と言われた。

*これから起きる**奇跡の意味**を明示

“メシアには地上で罪を赦す権威がある”

*難しい方を選んで命令されたイエス

➡即座に、完全に、癒やされよ



並行記事 立ち上がり マルコ2:12

すると彼は立ち上がり、すぐに寝床を担ぎ、皆の前を出て行った。

「神をあがめながら自分の家に帰って行った。ルカ5:25」

■ 誰の目にも明らか、
即座に起こった、完全な癒し。

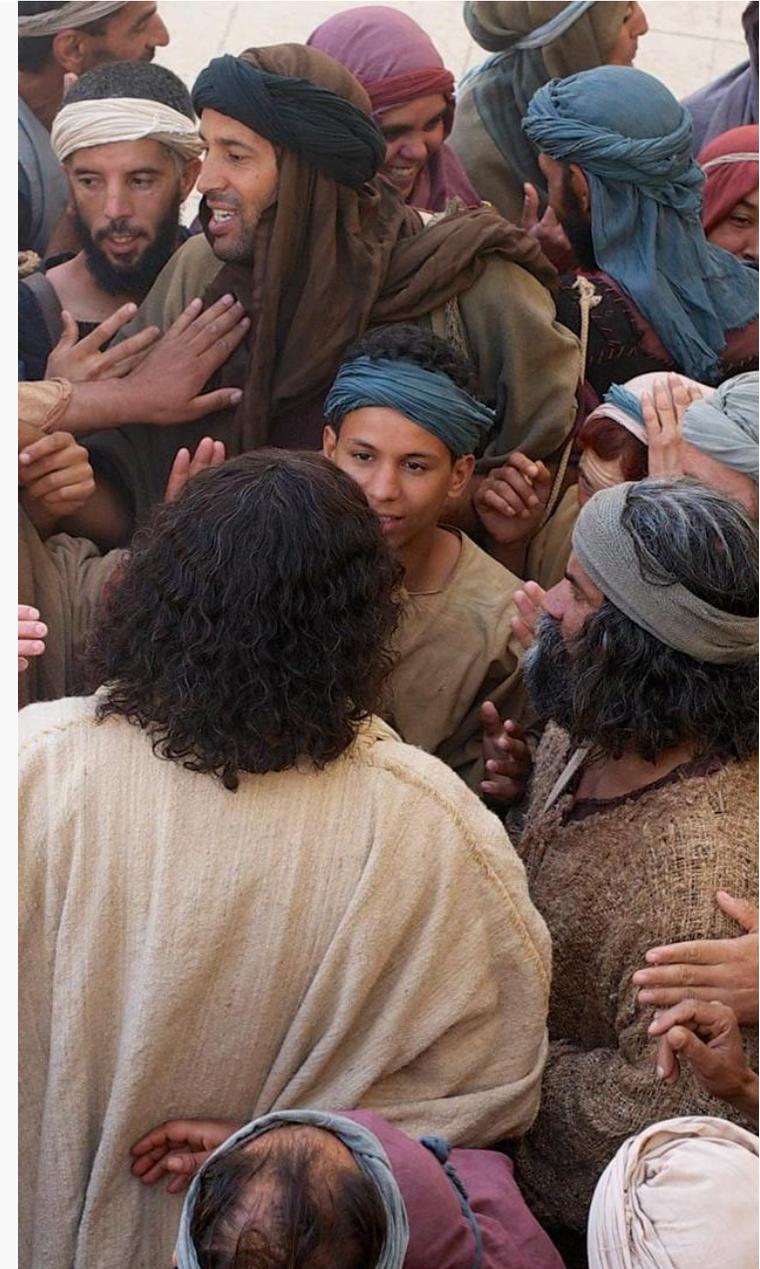
**イエスは、神の権威を
持った、メシアである**



本編 結末 マタイ9:7～8

すると彼は起き上がり、家に帰った。
群衆はそれを見て恐ろしくなり、このような
権威を人にお与えになった神をあがめた*。

*奇跡がもたらした最大の結果。神の目的。
➡神を恐れ、神をあがめるようになる。





Ⅲ. まとめと適用

弱さをも用いられる主に信頼して

カペナウム

中風患者を癒やされた 奇跡の意味

■目の前の出来事に心奪われてしまうのが、私たち人間。
奇跡ばかりが印象に残って、他には何も残らない。

→神の奇跡で重要なのは、**奇跡が示す意味**。だから**「しるし」**

■中風患者が癒やされた

→“メシアには地上で**罪を赦す権威**がある”

→メシアは、**真実の犠牲**を献げる、**正統な祭司**

イエス・キリストこそ、真の祭司、罪を贖う真実の犠牲!!

中風患者の示した信仰

■ 中風患者と四人の友人が信じたことは？

→ イエスは**メシア**であり、この病を癒すことができる

■ メシア預言 イザヤ35:5~6

「そのとき、目の見えない者の目は開かれ、耳の聞こえない者の耳は開けられる。そのとき、足の萎えた者は鹿のように飛び跳ね、口のきけない者の舌は喜び歌う。荒野に水が湧き出し、荒れ地に川が流れるからだ。」

神が聖書で預言されたメシアを信頼して、癒された!!

突飛な行動の背後にある 強い信仰

■ 屋根をはがして吊り下ろす。

常軌を逸した行動の背後には、メシアへの強い信頼が!!

■ 「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪は赦された」

(ルカでは「友よ」)

イエスは、神の子、メシアの友と認められ、罪を宣言された。

(…この後、屋根はどうなった?)

この中風患者は、信仰によって癒された!!

癒しの意味を確認しておこう

■ 信仰によって癒された中風患者。

→ 群衆とイスラエルの宗教指導者の前で、**メシアの証明が!!**

■ 最大の奇跡が、復活。 → **メシアの最大の証明は完遂!!**

■ 使徒時代の奇跡は、**使徒の教えの正統性を証明**

→ **使徒の教えは、完成、完結**

聖書が完成した今の時代には、かつてのような奇跡は不要!!

癒やされないことにも、意味がある

■パウロには、癒やされないままの「肉体のとげ」が!!

テモテは、肉体の弱さを抱えていた(1テモ5:23)。

「IIコリ 12:7 その啓示のすばらしさのため高慢にならないように、私は肉体に一つのとげを与えられました。それは私が高慢にならないように、私を打つためのサタンの使いです。」

■主は、病気や障害を用いて、働かれることもある。

➔癒やされない意味も、内住される聖霊が教えてくださる。

病気や障害を通して語りかけられる、主の御声を聴き取ろう

主の恵みの内に、弱さを誇る

■ II コリント 12:9~10

しかし主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである」と言われました。

ですから私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

ですから私は、キリストのゆえに、弱さ、侮辱、苦悩、迫害、困難を喜んでいます。というのは、私が弱いときにこそ、私は強いからです。

弱さは言い訳の材料ではない。神は弱さを通して働かれる!!

★ 弱さをも用いられる主に信頼して ★

■ 大切なのは、主を信頼し、主の御業を証しすること。
主は、私たちの弱さをも用いて、ご自身の栄光を現される。

■ 主は、弱く小さなイスラエルの民を、貧しい罪人を、選ばれた。
あなたは、無条件に、一方的な恵みによって神に選ばれた。

■ 自分の弱さを思い知らされるほど、私たちは主に用いられる。
主に信頼して、踏み出そう。愛する主の兄弟姉妹と共に。

主があなたを励まし、力注ぎ、御業のために用いられる!!

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活されたことを、信じます。

しゅ わたし い わたし よわ うち はたら
主が私を癒やし、私の弱さの内にも働きかけてくださいます。

しゅ しんらい ひとびと あか たす
主への信頼を、人々に証しすることができるように助けてください。

つみ なか くる ひとびと しゅ めぐ
罪のただ中で苦しむ人々に、主の恵みをもたらすことができますように。

みたま み わたし つか もち
御霊で満たしてください。私を遣わし、用いてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」